※令和３年度以前入学生用

学校番号	１２０５

令和５年度　美術科

教科	美術科	科目	素描	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・前期は立方体や円柱などの幾何形体で陰影や形、色のつけ方の基礎的なところから学習します。後期からは発展して身近なものを対象として、より深く表現する能力を高めます。
・デッサンという美術の基礎を通じ、形態や質感を的確に表現できるようにしましょう。違った表現を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。
・芸術系に進路を選ぶ人は必須。　教材費（¥1,500 程度）が必要です。

２ 学習の到達目標

美術の基礎であるデッサンを通して、対象物（モチーフ）を表現する力、観察する力を養うと共に、集中力や表現方法を工夫する力を身につけるのが目的。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさを理解し表現の構想を練っている。	素描に必要な技能を身に付け、対象物に応じて、表現方法を工夫している。	他者の作品などの表現の工夫、また美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動	制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４ 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	素描を知る	【練習】 ・オリエンテーション 専門用具の使い方を学ぶ ・グレースケール(3 種) ・陰影プリント 線画とデッサンの違いを学ぶ	○ ○ ○			○ ○	a:素描に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 b:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c:構図のとり方を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。 d:初歩を理解し、美術の働きや文化ついての理解を深めている。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	基礎を学ぶ	【幾何形体】 ・鉛筆の削り方、練りゴムの使い方を学ぶ ・立方体の特性を説明(パース他) ・円柱の特性を説明(楕円のとり方他) ・円錐を描く ・球を描く ・相互鑑賞	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	a:幾何形体の性質を理解し、表現することに関心をもっている。 b:形や陰影などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:鉛筆の特性を学び、表現方法を工夫して、表現している。 d:他者の作品から自分とは違った表現の美しさ、工夫、良さを見つけている。	・制作の様子 ・制作途中の作品 ・作品 ・鑑賞活動の様子や発言内容
	工業製品を描く(一点)	【定形物】 ・紙コップを描く ・紙袋を描く ・コンクリートブロック(大きいモチーフ)を描く ・相互鑑賞	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○	a:工業製品の性質を理解し、表現することに関心をもっている。 b:形や陰影などの働き、質感や物体の構造を考えて表現の構想を練っている。 c:鉛筆の特性を生かし、表現方法を工夫して、表現している。全ての基礎である「立方体を描く」で身につけた技術を活かせている。 d:他者の作品から表現の美しさ、工夫、良さを見つけている。	・制作の様子 ・制作途中の作品 ・作品 ・鑑賞活動の様子や発言内容
後期	工業製品を描く(一点)	【定形物】 ・トイレットペーパーを描く ・ガラスコップを描く ・相互鑑賞	○ ○	○ ○	○ ○	○	a:,b:,c:,d: ・同上	・同上

※令和３年度以前入学生用

後期	木炭デッサン	【木炭】 ・石膏像を描く 用具の使い方を学ぶ ・相互鑑賞	○	○	○	○	a:石膏像の特質に関心を持ち、人物を描写することに興味を持っている。うとしている。 b:大きな対象物に対して、スケールを用いて構成や収め方などを工夫している。 c:木炭の特性を生かし、陰のつけかたを工夫して、表現している。 d:他者の作品から表現の美しさ、工夫、良さを見つけている。	・制作の様子 ・制作途中の作品 ・作品 ・鑑賞活動の様子や発言内容
	集大成	【実技テスト】 ・決められた時間に開始～終了する 時間配分を考えて、まんべんなく仕上げる ・相互鑑賞	○	○	○	○	a:モチーフの性質を理解し、表現することに関心をもっている。 b:形や陰影などの働き、質感や物体の構造を考えて表現の構想を練っている。 c:鉛筆の特性を生かし、表現方法を工夫して、表現している。 一年間で身につけた技術を活かせている。 d:他者の作品から表現の美しさ、工夫、良さを見つけている。	・制作の様子 ・制作途中の作品 ・作品 ・鑑賞活動の様子や発言内容

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。